

滋賀県内企業動向調査 ～2020年10-12月期の実績見込みと21年1-3月期の見通し～ 景況感はやや改善も、低水準が続く

(株)滋賀銀行のシンクタンクである (株)しがぎん経済文化センター（大津市、取締役社長 北川 正義）では、県内企業の景況感を調査するために「滋賀県内企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。このほど2020年10-12月期分の調査結果をまとめましたので、公表いたします。

【調査の概要】

- ・調査名：滋賀県内企業動向調査（2020年10-12月期）
- ・調査時期：2020年11月5日～27日
- ・調査方法：郵送またはFAXによる配布、回収
- ・調査対象先：滋賀県内に本社を置く企業および県外からの進出企業904社
- ・回答数：307社（有効回答率34%）うち製造業136社、非製造業171社
- ・分析手法：DI（ディフュージョン・インデックス）
＝「かなり良い」と「やや良い」の回答割合から、
「かなり悪い」と「やや悪い」の回答割合を引いた指数を採用

【調査結果の要旨】

1. 現在の業況判断（P2～4）

- ・今回の調査（20年10-12月期）での自社の業況判断DIは-38で、前回（7-9月期）の-54から16ポイント上昇するも、依然として低水準が続いている。
- ・製造業は、前回の-69から20ポイント上昇の-49となり、マイナス幅は縮小したものの、8四半期連続のマイナス水準となっている。金属製品（-92→-19）、食料品（-92→-56）などはマイナス幅が縮小、繊維（-76→-81）、一般機械（-15→-40）などはマイナス幅が拡大した。
- ・非製造業は、前回の-42から12ポイント上昇の-30となり、マイナス幅は縮小したものの、5四半期連続のマイナス水準となっている。建設（-26→-13）、運輸・通信（-67→-33）、サービス（-61→-31）などはマイナス幅が縮小、卸売（-41→-55）などはマイナス幅が拡大した。
- ・3カ月後（21年1-3月期）は、製造業が3ポイント低下の-52、非製造業が7ポイント低下の-37、全体では6ポイント低下の-44と、マイナス幅は拡大する見通しとなっている。

2. その他の判断項目（P5～8）

- ・売上DI（-57→-50）は前回から7ポイント上昇も、8四半期連続でマイナス水準。
- ・経常利益DI（-56→-42）は前回から14ポイント上昇も、9四半期連続でマイナス水準。
- ・製・商品の在庫DI（+8→+4）は4ポイント低下。
- ・販売価格DI（-11→-9）は2ポイント上昇。
- ・仕入価格DI（+9→+13）は4ポイント上昇。
- ・生産・営業用設備DI（+5→+5）は横ばい。
- ・雇用人員DI（+1→-8）は9ポイント低下し、2四半期ぶりに不足感がでてきた。業種別にみると、製造業は8ポイント低下の+7、非製造業は8ポイント低下の-20であり、製造業は過剰感が強く、非製造業は不足感が強い。

3. 設備投資の実施状況（P9・10）

- ・設備投資を実施した（する）企業の割合は46%で、前回（41%）から5ポイント上昇したものの、3四半期連続で50%を下回っている。
- ・主な内容（複数回答）は、「生産・営業用設備の更新」（33%）が最も多く、次いで「OA機器の購入」（30%）、「車両の購入」（25%）。

【お問い合わせ先】 (株)しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部 宮島（TEL：077-523-2245）

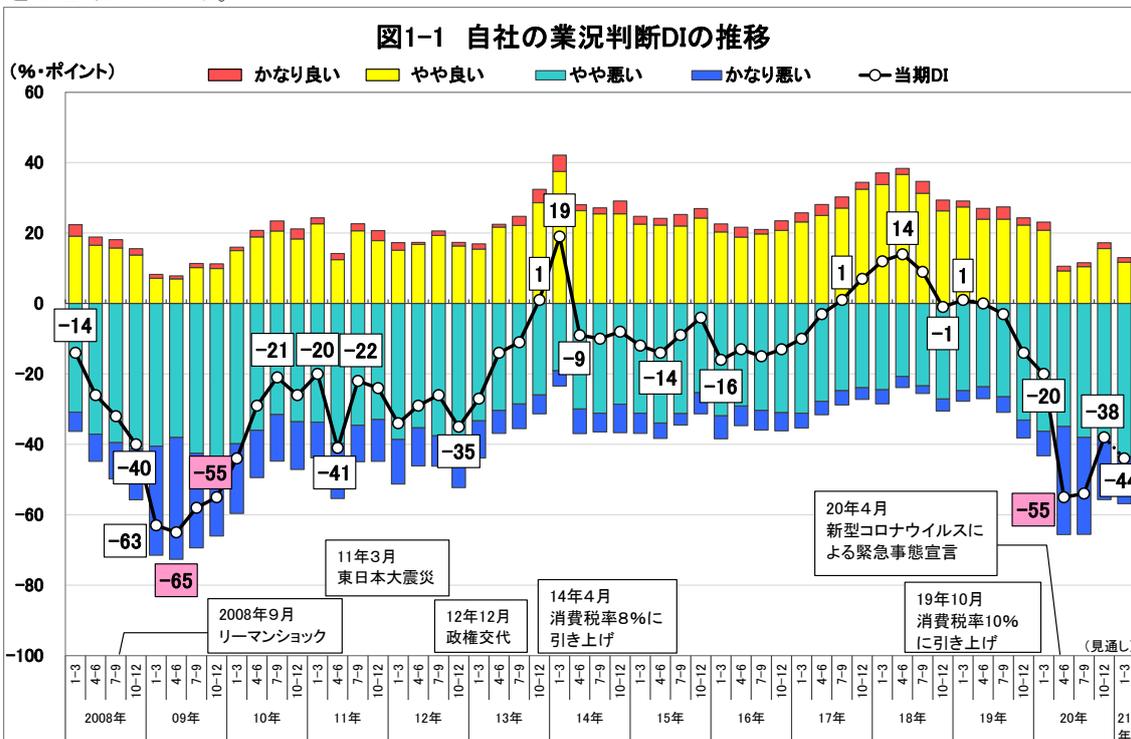
1. 自社の業況判断

(1) 自社の業況判断DI…製造業は20ポイント上昇、非製造業は12ポイント上昇も、景況感は依然低水準

1. 全体の動向 (図1-1)

今回の調査(20年10-12月期)での自社の業況判断DIは-38で、前回(7-9月期)の-54から16ポイント上昇するも、依然として低水準が続いている。

3カ月後(21年1-3月期)は、全体で6ポイント低下の-44と、マイナス幅は拡大する見通しとなっている。



2. 業種別の動向 (図1-2、表1-1)

業種別にみると、製造業は、前回の-69から20ポイント上昇の-49となり、マイナス幅は縮小したものの、8四半期連続のマイナス水準となっている。金属製品(-92→-19)、食料品(-92→-56)などはマイナス幅が縮小、繊維(-76→-81)、一般機械(-15→-40)などはマイナス幅が拡大した。

3カ月後の製造業全体は、現在から3ポイント低下の-52となる見通しである。

非製造業は、前回の-42から12ポイント上昇の-30となり、マイナス幅は縮小したものの、5四半期連続のマイナス水準となっている。建設(-26→-13)、運輸・通信(-67→-33)、サービス(-61→-31)などはマイナス幅が縮小、卸売(-41→-55)などはマイナス幅が拡大した。

3カ月後の非製造業全体は、現在から7ポイント低下の-37となる見通しである。

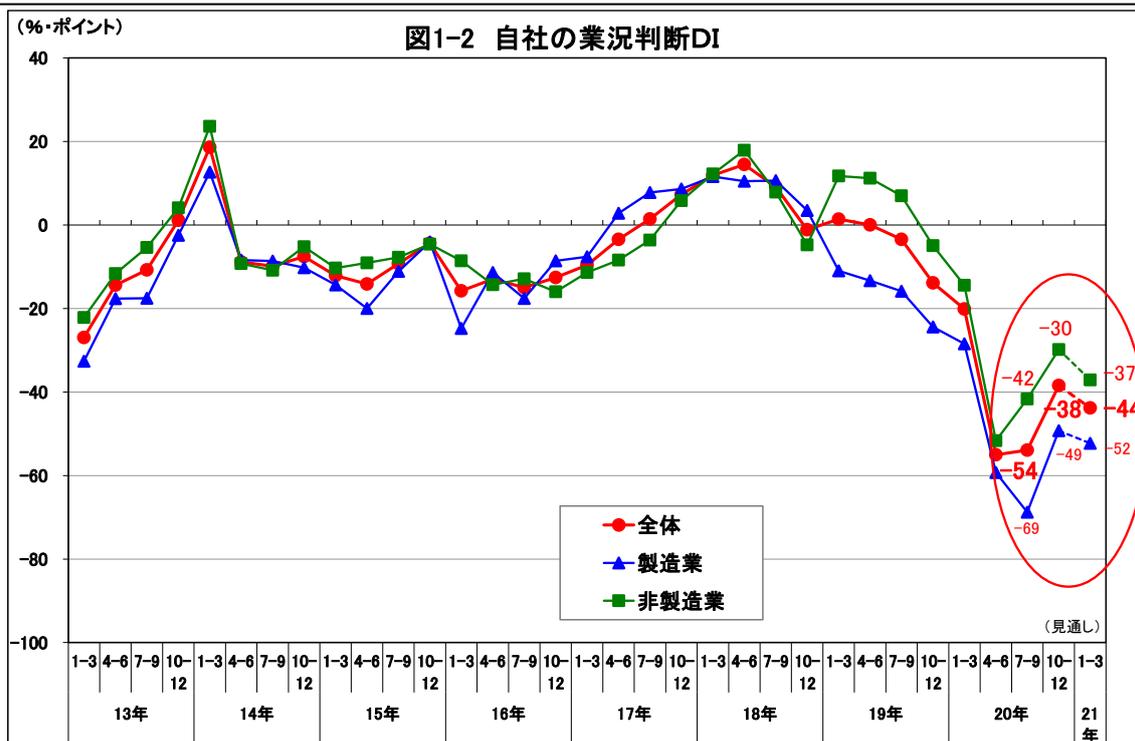


表1-1 自社の業況判断DI(業種別)

業種(※1)	今回の回答社数	20年 7-9月期 前回	20年 10-12月期 今回(※2)	21年 1-3月期 見通し
全体	307	-54	-38 (-61)	-44
製造業	136	-69	-49 (-70)	-52
繊維	16	-76	-81 (-81)	-81
木材・木製品	×	×	×	×
紙・パルプ	×	×	×	×
化学	8	-83	-50 (-55)	-50
石油・石炭	×	×	×	×
窯業・土石	8	-71	-50 (-71)	-50
鉄鋼	×	×	×	×
非鉄金属	×	×	×	×
食料品	16	-92	-56 (-69)	-60
金属製品	21	-92	-19 (-88)	-55
一般機械	10	-15	-40 (-23)	-63
電気機械	11	-50	-45 (-80)	-36
輸送用機械	×	×	×	×
精密機械	×	×	×	×
その他の製造業	31	-71	-52 (-70)	-39
非製造業	171	-42	-30 (-54)	-37
建設	53	-26	-13 (-40)	-32
不動産	15	-6	-7 (-38)	-15
卸売	29	-41	-55 (-59)	-55
小売	23	-50	-48 (-68)	-48
運輸・通信	9	-67	-33 (-58)	-22
電気・ガス	×	×	×	×
サービス	26	-61	-31 (-65)	-28
リース	×	×	×	×
その他の非製造業	11	-40	-27 (-50)	-45

(※1) 回答数が5社以下の業種は非表示(×)

(※2) ()内の数値は前回調査時点での10-12月期の見通し

(2) 前年同期を100とした売上高…20年7-9月期の売上は前年の85%(表1-2)

前年同期を100とした売上高を業種別にみると、20年7-9月期(確定分)は製造業で82.7、非製造業は87.2、全体では85.1となった。10-12月期の見込は、製造業が87.0で4.3ポイント上昇、非製造業が88.8で1.6ポイント上昇、全体では87.9で2.8ポイント上昇する見通しである。

表1-2 前年同期を100とした売上高(業種別)

業種(※)	今回の回答社数	20年7-9月期(確定分)今回	20年10-12月期見込
全体	276	85.1	87.9
製造業	131	82.7	87.0
繊維	16	82.2	78.6
木材・木製品	×	×	×
紙・パルプ	×	×	×
化学	8	85.0	93.9
石油・石炭	×	×	×
窯業・土石	8	87.0	86.4
鉄鋼	×	×	×
非鉄金属	×	×	×
食料品	13	79.5	84.6
金属製品	21	81.5	90.2
一般機械	9	83.4	81.7
電気機械	11	79.8	82.3
輸送用機械	×	×	×
精密機械	×	×	×
その他の製造業	30	86.3	93.1
非製造業	145	87.2	88.8
建設	45	92.1	86.3
不動産	11	95.9	96.4
卸売	25	80.3	93.7
小売	21	83.2	85.9
運輸・通信	8	93.3	95.6
電気・ガス	×	×	×
サービス	21	83.6	84.4
リース	×	×	×
その他の非製造業	9	88.1	89.8

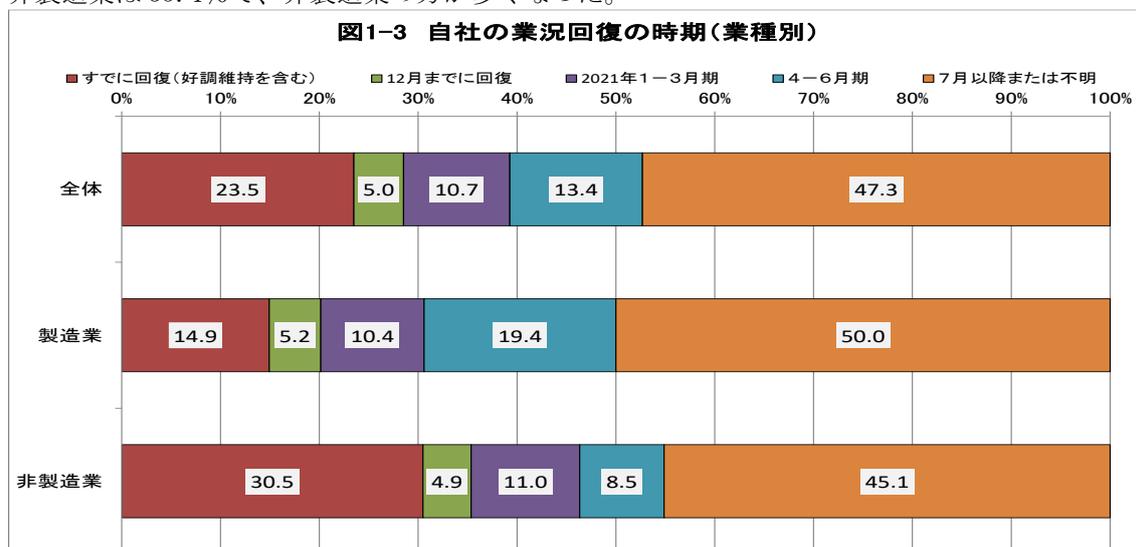
(※)回答数が5社以下の業種は非表示(×)

(3) 自社の業況回復の時期…「21年7月以降(不明を含む)」は5割弱(47.3%)(図1-3)

自社の業況回復の時期をみると、「すでに回復(好調維持を含む)」した企業の割合は23.5%で、「12月まで」(5.0%)を合わせると28.5%となり、前回(20.3%)より8.2ポイント上昇した。一方、半年以上先の「21年7月以降(不明を含む)」は47.3%で、前回(56.4%)より9.1ポイント低下したものの、新型コロナウイルスの影響がなかった19年10-12月期(36.4%)と比較すると10.9ポイント悪化しており、改善しているとは言い難い。

業種別では、「すでに回復(12月までに回復を含む)」した企業の割合は、製造業が20.1%、非製造業は35.4%で、非製造業の方が多くなった。

図1-3 自社の業況回復の時期(業種別)



2. その他の判断項目

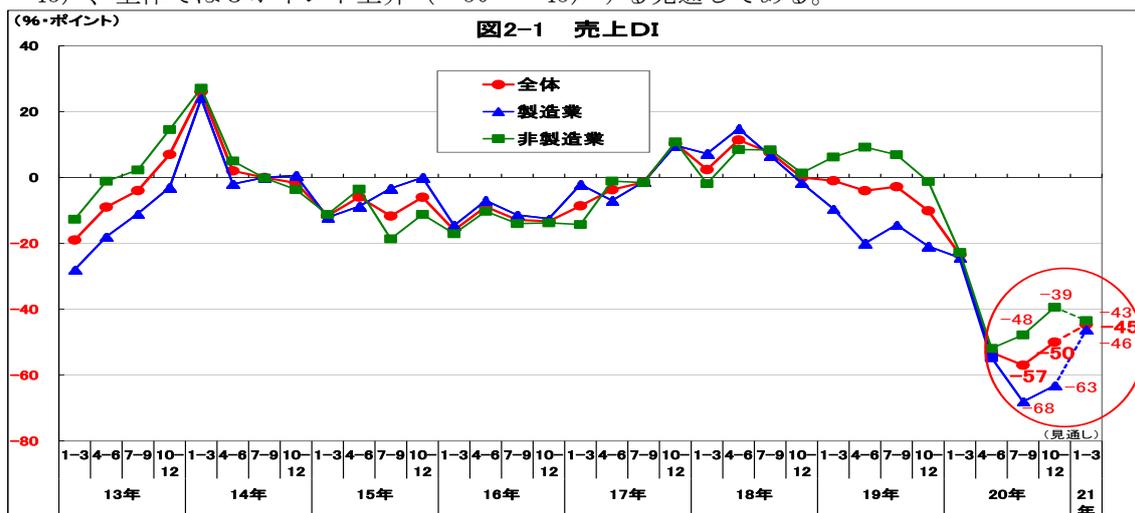
(1) 売上DI…8四半期連続のマイナス水準(図2-1)

現在の売上DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は-50で、前回の-57から7ポイント上昇するも、8四半期連続のマイナス水準となっている。

業種別では、製造業(-68→-63)は5ポイント上昇した。窯業・土石(-86→-38)などはマイナス幅が縮小、一般機械(-46→-70)などはマイナス幅が拡大した。

非製造業(-48→-39)は9ポイント上昇した。運輸・通信(-54→-22)などはマイナス幅が縮小、卸売(-31→-59)などはマイナス幅が拡大した。

3カ月後は、製造業は17ポイント上昇(-63→-46)、非製造業は4ポイント低下(-39→-43)、全体では5ポイント上昇(-50→-45)する見通しである。



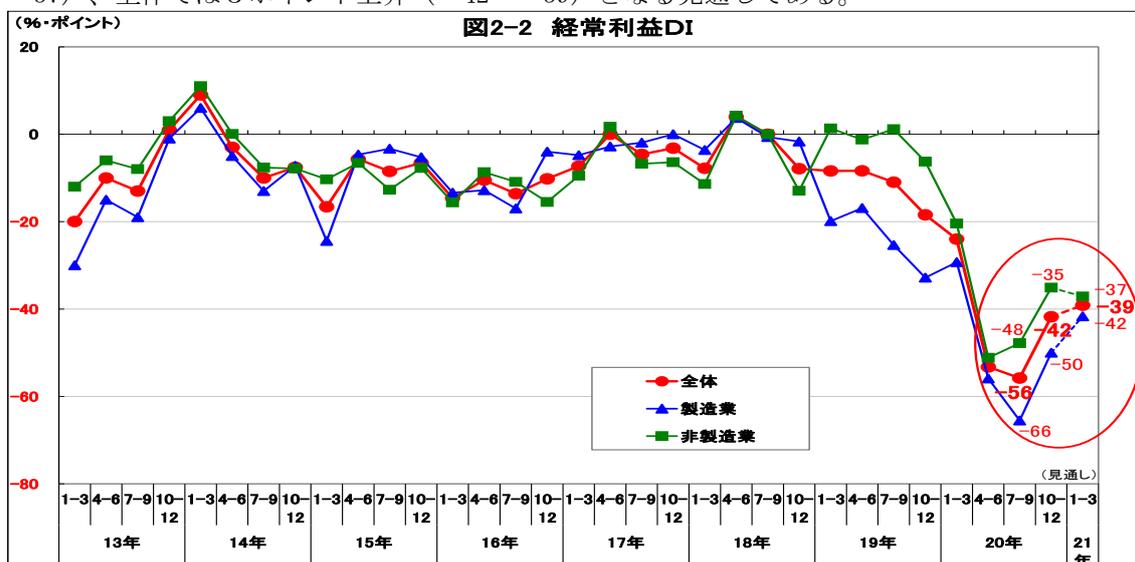
(2) 経常利益DI…9四半期連続のマイナス水準(図2-2)

現在の経常利益DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は-42で、前回(-56)から14ポイント上昇するも、9四半期連続のマイナス水準となっている。

業種別にみると、製造業(-66→-50)は16ポイント上昇した。化学(-75→0)などはもちあいに回復、繊維(-81→-88)などはマイナス幅が拡大した。

非製造業(-48→-35)は13ポイント上昇した。その他の非製造業(-40→+9)はプラス水準に、運輸・通信(-62→0)はもちあいにそれぞれ回復、卸売(-34→-48)はマイナス幅が拡大した。

3カ月後は、製造業は8ポイント上昇(-50→-42)、非製造業は2ポイント低下(-35→-37)、全体では3ポイント上昇(-42→-39)となる見通しである。



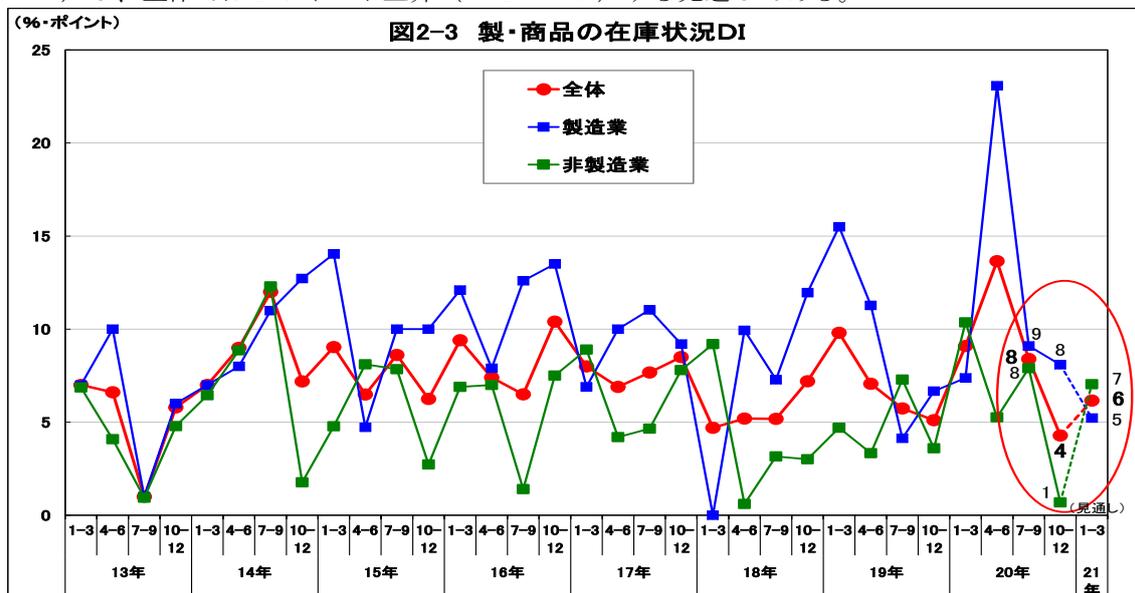
(3) 製・商品の在庫状況DI…4ポイント低下(図2-3)

現在の製・商品の在庫状況DI(「過大」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は+4で、前回(+8)から4ポイント低下した。

業種別にみると、製造業(+9→+8)は1ポイント低下した。食料品(-15→0)は不足感が解消し、金属製品(+4→+14)などで過大感が強まった。

非製造業(+8→+1)は7ポイント低下した。不動産(-6→0)などで不足感が解消し、その他の非製造業(+33→-22)などで不足感が強まった。

3カ月後は、製造業は3ポイント低下(+8→+5)、非製造業は6ポイント上昇(+1→+7)し、全体では2ポイント上昇(+4→+6)する見通しである。



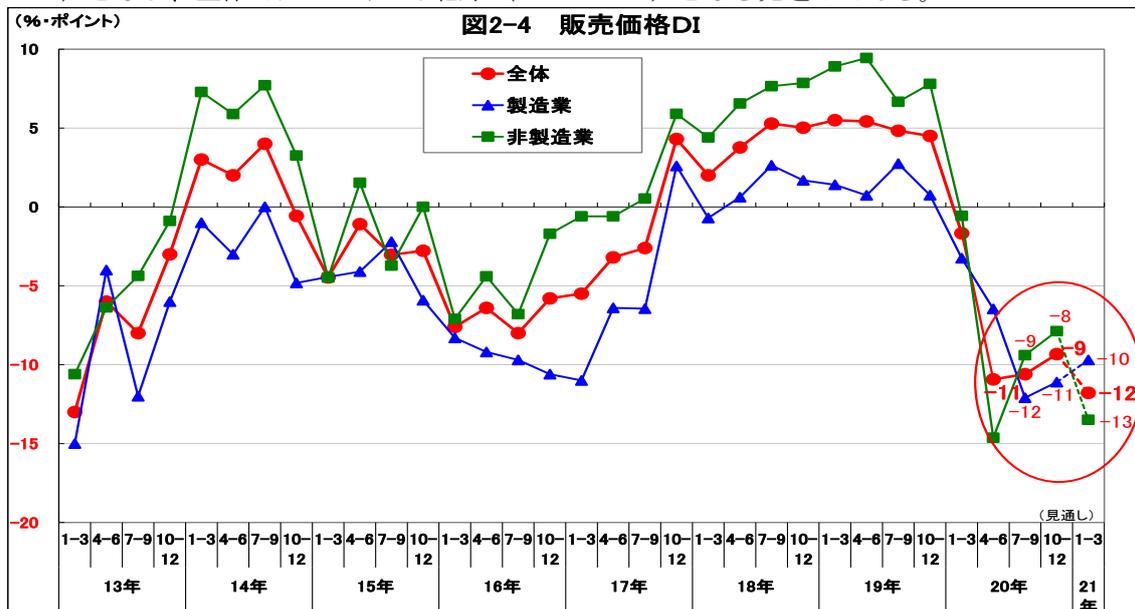
(4) 販売価格DI…2ポイント上昇も、4四半期連続のマイナス水準(図2-4)

現在の販売価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は-9で、前回(-11)から2ポイント上昇するも、4四半期連続のマイナス水準となっている。

業種別にみると、製造業(-12→-11)は1ポイント上昇した。化学(-8→0)などは上昇、窯業・土石(0→-13)、食料品(-15→-27)などは低下した。

非製造業(-9→-8)は1ポイント上昇した。卸売(-7→0)、その他の非製造業(-10→+10)などは上昇、サービス(-9→-13)などは低下した。

3カ月後は、製造業は1ポイント上昇(-11→-10)、非製造業は5ポイント低下(-8→-13)となり、全体では3ポイント低下(-9→-12)となる見通しである。



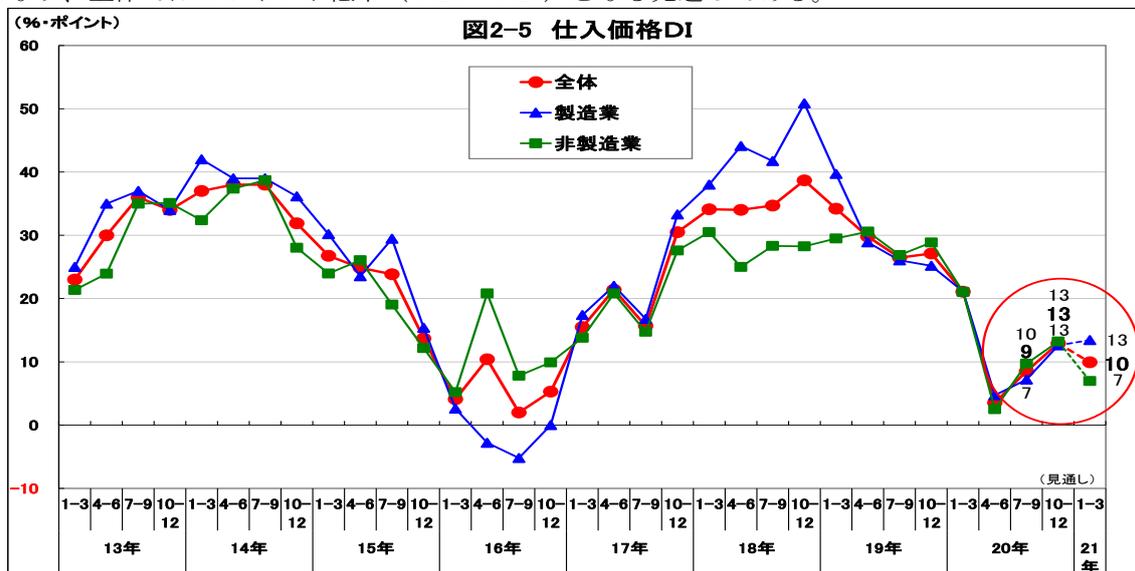
(5) 仕入価格DI…4ポイント上昇し、引き続きプラス水準(図2-5)

現在の仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+13で、前回(+9)から4ポイント上昇した。

業種別にみると、製造業(+7→+13)は6ポイント上昇した。窯業・土石(-14→+13)などは上昇、化学(-8→-25)などは低下した。

非製造業(+10→+13)は3ポイント上昇した。不動産(-7→+8) サービス(+3→+15)などは上昇、運輸・通信(+20→0)などは低下した。

3カ月後は、製造業が横ばい(+13→+13)、非製造業は6ポイント低下(+13→+7)となり、全体では3ポイント低下(+13→+10)となる見通しである。



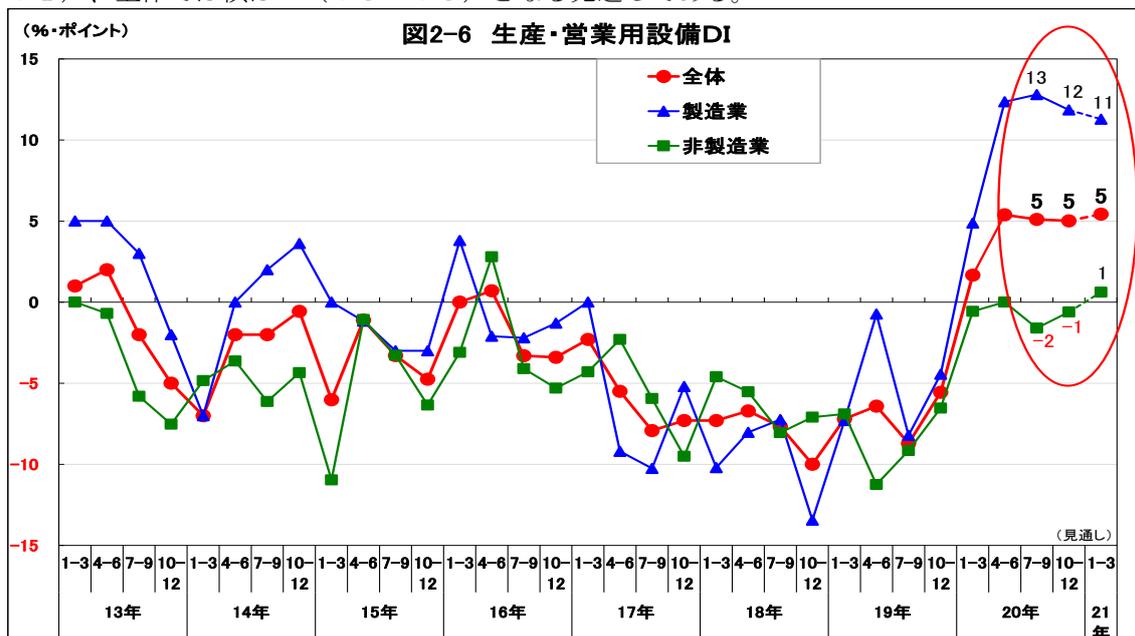
(6) 生産・営業用設備DI…4四半期連続のプラス水準(図2-6)

現在の生産・営業用設備DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は、+5で、前回(+5)から横ばいとなった。

業種別にみると、製造業(+13→+12)は1ポイント低下した。電気機械(0→+18)などは過剰感が強まり、木材・木製品(-14→0)は不足感が解消した。

非製造業(-2→-1)は1ポイント上昇した。サービス(-6→+9)で過剰感が強まり、不動産(0→-14)などで不足感が強まった。その他の非製造業(-13→0)は不足感が解消した。

3カ月後は、製造業は1ポイント低下(+12→+11)、非製造業は2ポイント上昇(-1→+1)、全体では横ばい(+5→+5)となる見通しである。



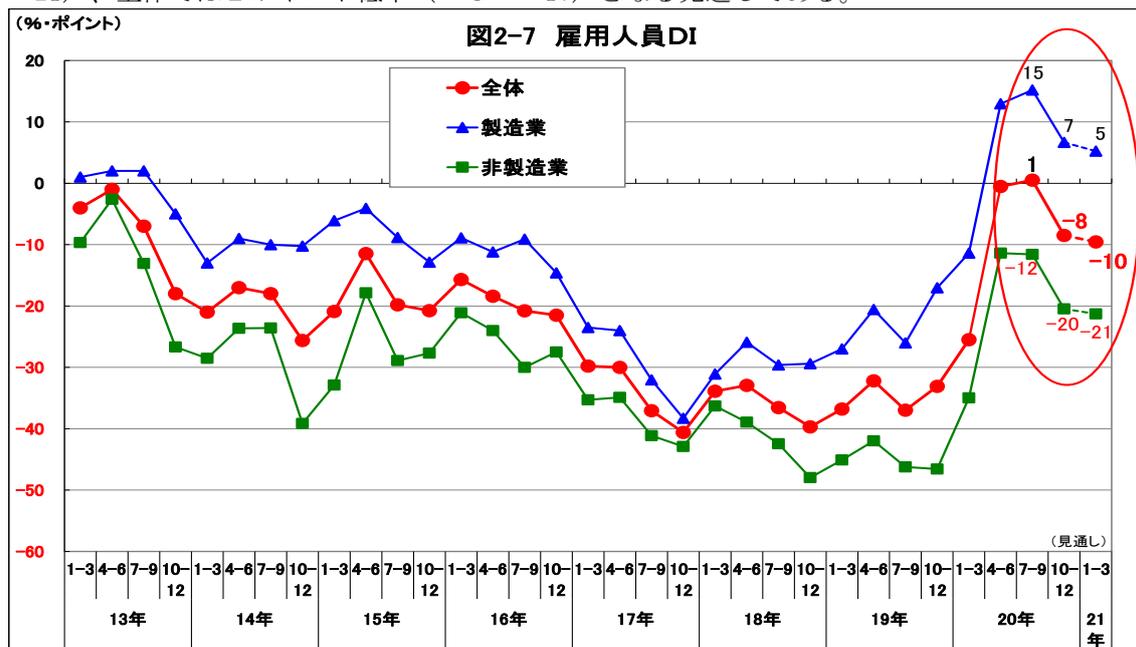
(7)雇用人員DI…2四半期ぶりにマイナス水準。再び不足感が強くなる(図2-7)

現在の雇用人員DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は-8で、前回(+1)より9ポイント低下し、2四半期ぶりにマイナス水準となり、再び不足感がでてきた。

業種別にみると、製造業(+15→+7)は8ポイント低下した。窯業・土石(0→+25)、電気機械(0→+18)などで過剰感が強まり、金属製品(+38→-10)で不足感が強まった。一般機械(-8→0)などの不足感は解消した。

非製造業(-12→-20)は8ポイント低下した。卸売(0→-3)、小売(0→-4)、サービス(0→-12)などで不足感が強まった。その他の非製造業(+30→0)の過剰感は解消した。

3カ月後は、製造業は2ポイント低下(+7→+5)、非製造業は1ポイント低下(-20→-21)、全体では2ポイント低下(-8→-10)となる見通しである。



3. 設備投資の実施状況

(1)設備投資の実施割合…3四半期連続で50%を下回る(図3-1、表2)

今期(10-12月期)に設備投資を実施した(する)企業の割合は46%で、前回(20年7-9月期)41%から5ポイント上昇したものの、3四半期連続で50%を下回っている。

業種別にみると、製造業は44%で、前回(43%)より1ポイント上昇した。化学(58%→88%)などで上昇し、金属製品(46%→38%)などで低下した。非製造業は47%で、前回(40%)より7ポイント上昇した。運輸・通信(17%→44%)などで上昇し、建設(50%→43%)で低下した。

3カ月後の設備投資実施予定の割合は、製造業が34%、非製造業が33%、全体では34%と、4四半期連続で50%を下回る見通しである。

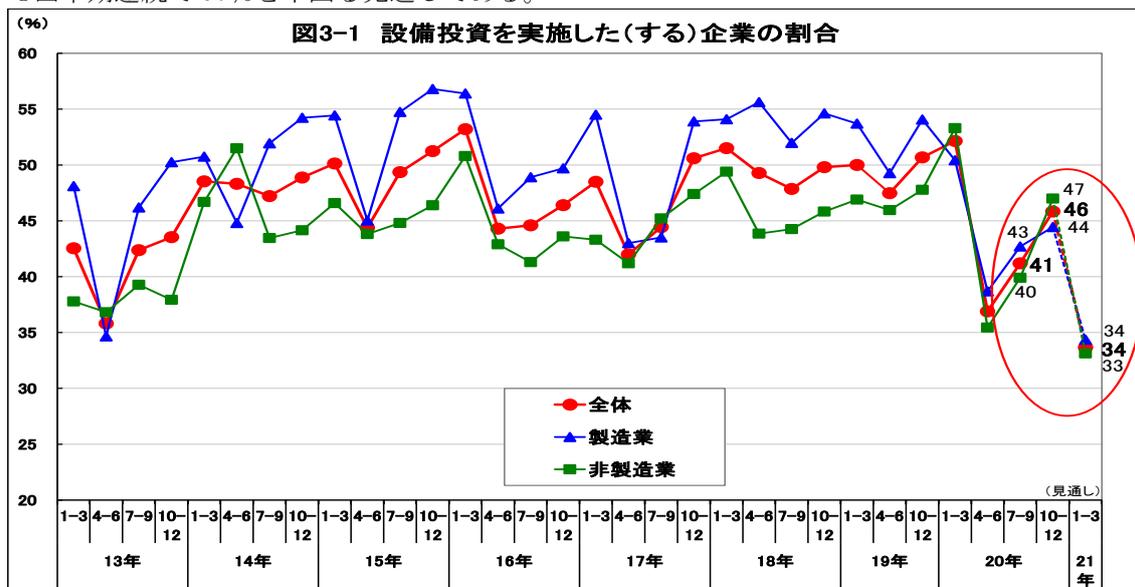


表2 設備投資を実施した(する)の企業の割合(業種別詳細) (%)

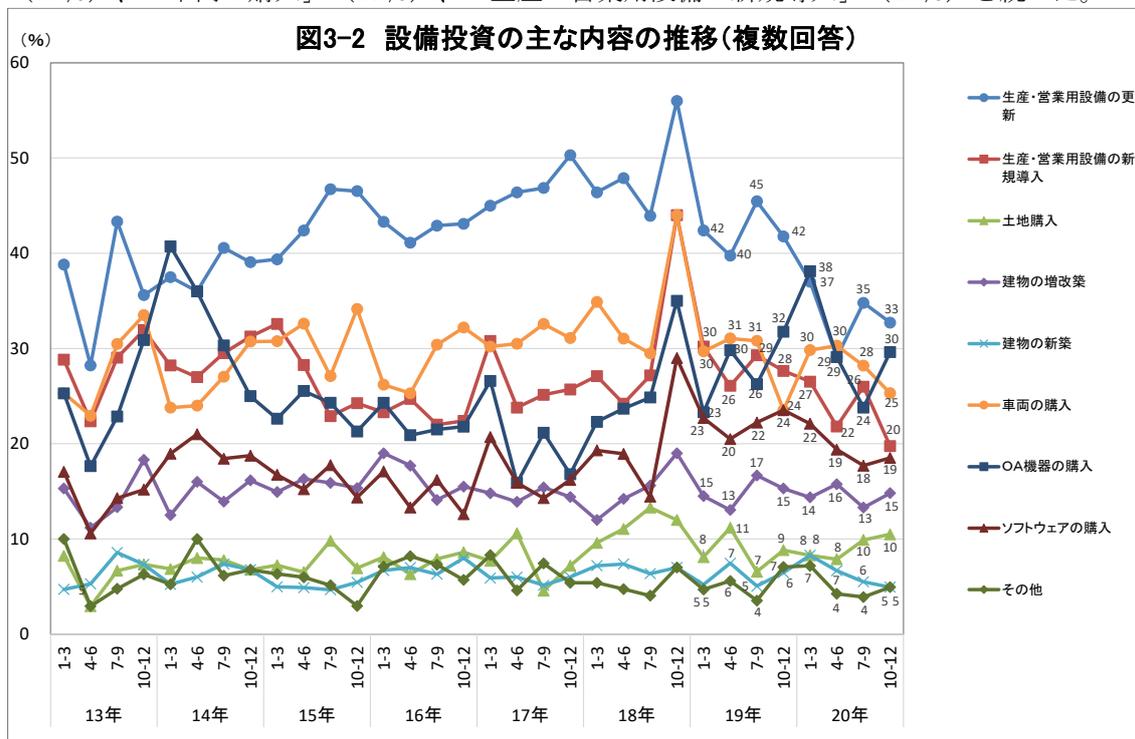
業種(※)	20年 7-9月期 前回	20年 10-12月期 今回	21年 1-3月期 見通し
全体	41	46	34
製造業	43	44	34
繊維	41	53	40
木材・木製品	×	×	×
紙・パルプ	×	×	×
化学	58	88	38
石油・石炭	×	×	×
窯業・土石	43	38	50
鉄鋼	×	×	×
非鉄金属	×	×	×
食料品	31	50	40
金属製品	46	38	24
一般機械	46	40	44
電気機械	22	27	18
輸送用機械	×	×	×
精密機械	×	×	×
その他の製造業	48	48	29
非製造業	40	47	33
建設	50	43	32
不動産	24	29	21
卸売	39	48	42
小売	42	52	25
運輸・通信	17	44	44
電気・ガス	×	×	×
サービス	37	50	36
リース	×	×	×
その他の非製造業	30	45	27

(※) 回答数が5社以下の業種は非表示

(2)設備投資の主な内容…「生産・営業用設備の更新」が2四半期連続で最も多い

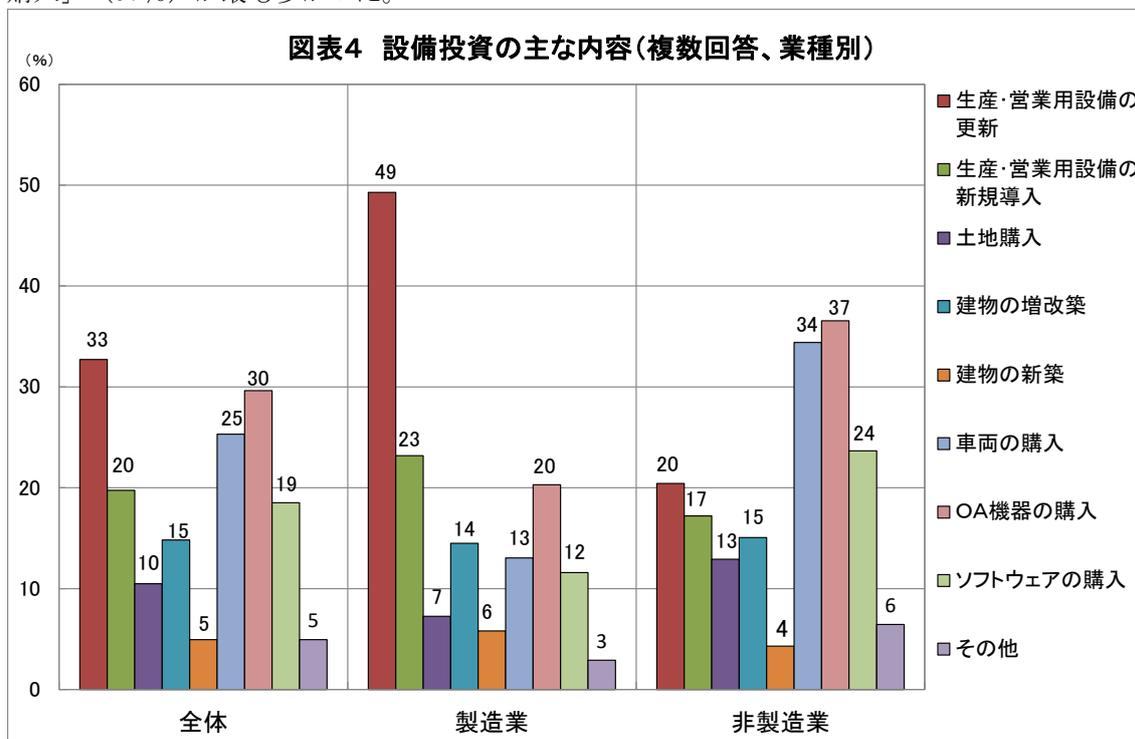
1. 全体の動向 (図3-2)

設備投資を実施した(する)企業のうち、設備投資の主な内容を見ると(複数回答)、「生産・営業用設備の更新」(33%)が2四半期連続で最も多くなった。次いで「OA機器の購入」(30%)、「車両の購入」(25%)、「生産・営業用設備の新規導入」(20%)と続いた。



2. 業種別の動向 (図表4)

業種別にみると、製造業は「生産・営業用設備の更新」(49%)、非製造業は「OA機器の購入」(37%)が最も多かった。



【参考資料】

1. 現在の業況判断の根拠となる具体的な理由や背景（一部抜粋）

【製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
化学	自動車関連事業の売上が増加。 新型コロナウイルスの影響で受注減少の取引先もあれば、急回復で100%以上の取引先もあり、トータルでは100%。
窯業・土石	業績が良かった前期と同水準の売上高、利益額を得られている。新型コロナウイルスの影響は、今のところ無い。
食料品	新型コロナウイルスの影響で、9月までは売上減少が大きかったが、10月はGoToキャンペーン効果もあり、ほぼ前年並みの売上に回復してきた。 量販店の売上は10%増加も、直売店の売上は10%減少。
金属製品	短期の判断となると受注残が12月迄あるため、コロナ禍以前の受注単価となるため。
電気機械	輸出向けの売上が増加した。
その他の製造業	新型コロナウイルスの影響で、包装資材関連の売上が10%減少。一方、米中貿易摩擦の影響で産業資材関連の売上が20%増加となる。トータルでは売上変わらず。 売上高は前年並みも、商品の売上構成が変化している。 主力製品の売上が回復傾向であり、売上は前年と同水準。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
繊維	アパレル向けが、新型コロナウイルスの影響で大幅に減少。 9～10月にかけて急激に悪化している。 コロナ禍の影響で、7月より売上が約半減。 新型コロナウイルスの影響で催事販売が出来ず、売上が70%減少。 新型コロナウイルスの影響で、衣料品の売上が20%減少した。
化学	新型コロナウイルスの影響で、取引先からの受注が約10%減少している。 新型コロナウイルスの影響で、1月～10月の10か月で前年対比で売上24%減少。
窯業・土石	新型コロナウイルスの影響で、取引先の稼働日数が減少し、売上が減少。 新型コロナウイルスの影響で、売上が一時期60%以下に減少したが、10月以降は30%程度の減少にまで戻ってきた。
食料品	新型コロナウイルスの影響で、売上が30%減少した。 新型コロナウイルスの影響で、メインユーザーであるホテル、外食関係の売上が減少。 新型コロナウイルスの影響により、売上がほぼ半減。
金属製品	新型コロナウイルスや、米中関係の影響が続いており、売上は前年対比30～40%減少の状態が続いている。 自動車業界全体の不況や新型コロナウイルスの影響により、売上は前年対比30%減少。需要は急激に回復するも、人員不足で生産対応できず。
一般機械	新型コロナウイルスの影響により、売上が前年対比20%減少した。 新型コロナウイルスの影響で、工事の規模が縮小。今後も不透明。 設備投資意欲の低下により受注が減っている。 新型コロナウイルスの影響で、営業活動の停滞。
電気機械	新型コロナウイルスの影響で、売上が13%減少。 海外向けが回復してきたもののまだ不芳。先行きは不透明。
その他の製造業	コロナショックの影響が続いており、収益は確保出来ていない。 新型コロナウイルスの影響で、イベント関係の売上が減少。 新型コロナウイルスの影響で、製品の受注キャンセルあり。 米中貿易摩擦で、中国向けの売上が50%減少した。 新型コロナウイルスの影響が続いている。鮮魚出荷は回復傾向となったものの、冷凍鮎の売上は50%程度減少。

【非製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
建設	昨年オリンピック関係の売上が特別にあったため、今年は売上減少。 コロナ発生前の受注工事の繰越しがあり、令和3年上半年期までは堅調に推移するも、民間設備投資の冷え込みにより、下半期は下方推移を見込む。 10-12月期は手持工事の消化から売上高が大幅に増加するも、1-3月期は売上高減少の見通し。 現在は新型コロナウイルスの影響も少なく、例年通り推移しているが、来年以降何らかの影響は出てきそう。
不動産	例年と比べ大きな動きはない。
小売	人口減少、世帯数減少が進んでいるため、市場分母が小さくなっている。
サービス	新型コロナウイルスの影響で、受注が増加した。
その他の非製造業	売上の前年並みを維持している。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
建設	公共工事の減少で、受注が65%減少した。 新型コロナウイルスの影響で、分譲地のイベントができず、売上が減少。 コロナ禍の影響で、顧客の設備投資が抑制されている。 新型コロナウイルスの影響で顧客の設備投資が延期となり、売上が30%減少。
不動産	新型コロナウイルスの影響により、テナント賃料が減少。期間を決めて減額合意しているため、現在は戻りつつある。
卸売	コロナ禍における需要の減少および停滞。 新型コロナウイルスの影響で催事が減り、売上が半分以下に落ちた。 インバウンドや観光客の減少により、売上が15%減少した。 新型コロナウイルスの影響で、業務用や一般酒販店への売上が大幅に減少。 新型コロナウイルスの影響で、観光に関する売上(自販機、土産品)が減少したが、現在は回復の兆しがある。 総売上は昨年並みだが、通常商品の流れが悪くなってきた。 新型コロナウイルスの影響で、外回り営業が出来ず、売上が減少。
小売	新型コロナウイルスの影響で、農家の設備投資意欲が減退。また、今年は台風がなく、ハウス修理依頼が減少。 新型コロナウイルスの影響で、売上が半分以下になった。 新型コロナウイルスの影響で、売上が約20%減少。 新型コロナウイルスの影響で、中古車・新車の販売が10~20%減少。
運輸・通信	輸送量が28%減少。 新型コロナウイルスの影響による売上減少は徐々に回復傾向にあるものの、一部部門では未だ売上が80~90%。 新型コロナウイルスにより、得意先の仕事が減少。 売上が18%減少した。
サービス	新型コロナウイルスの影響で、学校販売の売上が20%減少。 新型コロナウイルスの影響で顧客が減少し、売上が50%に減少。 新型コロナウイルスの影響で、宴会(10名以上)の売上が8割以上減少した。
その他の非製造業	新型コロナウイルスの影響により、目標売上に達しなかった。 コロナ禍の影響で客数が15%以上減少。

2. DI回答一覧(業種別)

項目	業況判断DI				売上				仕入価格				販売価格			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	20年	20年	20年	21年	20年	20年	20年	21年	20年	20年	20年	21年	20年	20年	20年	21年
調査時期	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	-54	-61	-38	-44	-57	-61	-50	-45	9	9	13	10	-11	-12	-9	-12
製造業	-69	-70	-49	-52	-68	-64	-63	-46	7	12	13	13	-12	-10	-11	-10
繊維	-76	-81	-81	-81	-82	-81	-75	-69	12	6	13	13	-6	-19	-6	0
木材・木製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	-83	-55	-50	-50	-83	-67	-75	-38	-8	8	-25	0	-8	8	0	0
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	-71	-71	-50	-50	-86	-71	-38	-63	-14	0	13	0	0	0	-13	-13
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-92	-69	-56	-60	-85	-62	-75	-60	23	31	7	13	-15	-15	-27	-13
金属製品	-92	-88	-19	-55	-71	-79	-71	-65	8	-4	5	5	-17	-29	-10	-15
一般機械	-15	-23	-40	-63	-46	-31	-70	-56	8	23	0	0	-8	0	-10	-10
電気機械	-50	-80	-45	-36	-70	-33	-55	-45	0	0	18	18	-10	-11	-9	-18
輸送用機械	X	X	X	X	-20	-60	-100	-75	20	20	50	50	0	0	25	0
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	-71	-70	-52	-39	-61	-63	-45	-7	15	15	29	23	-17	-7	-16	-6
非製造業	-42	-54	-30	-37	-48	-59	-39	-43	10	6	13	7	-9	-15	-8	-13
建設	-26	-40	-13	-32	-50	-59	-32	-47	14	8	13	13	-10	-15	-13	-19
不動産	-6	-38	-7	-15	-18	-44	-27	-27	-7	-8	8	0	-20	-21	-7	-7
卸売	-41	-59	-55	-55	-31	-52	-59	-62	7	14	17	7	-7	-17	0	-3
小売	-50	-68	-48	-48	-58	-71	-48	-48	13	5	13	0	-5	-5	-9	-17
運輸・通信	-67	-58	-33	-22	-54	-60	-22	-11	20	20	0	0	-10	-20	-14	-14
電気・ガス	X	X	X	X	-75	-50	-50	-67	0	25	20	0	-25	0	0	0
サービス	-61	-65	-31	-28	-58	-63	-42	-24	3	-3	15	5	-9	-15	-13	-22
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	-40	-50	-27	-45	-40	-60	-27	-55	22	0	11	11	-10	-30	10	0

項目	経常利益				製・商品の在庫				生産・営業用設備				雇用人員			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	20年	20年	20年	21年	20年	20年	20年	21年	20年	20年	20年	21年	20年	20年	20年	21年
調査時期	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	-56	-62	-42	-39	8	6	4	6	5	7	5	5	1	-3	-8	-10
製造業	-68	-68	-50	-42	9	8	8	5	13	12	12	11	15	10	7	5
繊維	-81	-80	-88	-75	35	19	13	19	18	6	13	13	6	0	19	19
木材・木製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	-75	-67	0	0	17	-8	25	13	42	33	38	38	42	33	25	13
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	-71	-71	-63	-63	0	0	0	0	14	14	13	13	0	0	25	25
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-92	-67	-44	-13	-15	8	0	0	25	17	7	7	33	33	0	13
金属製品	-71	-79	-57	-80	4	4	14	0	21	21	19	21	38	33	-10	-15
一般機械	-38	-38	-40	-56	15	0	0	-30	0	8	10	10	-8	-8	0	10
電気機械	-60	-33	-45	-45	20	22	9	0	0	11	18	0	0	0	18	0
輸送用機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	-61	-71	-39	-13	0	7	3	13	7	7	10	13	15	5	3	6
非製造業	-48	-57	-35	-37	8	3	1	7	-2	2	-1	1	-12	-14	-20	-21
建設	-52	-59	-42	-46	2	2	-5	5	-4	-4	-2	-6	-40	-43	-45	-42
不動産	-24	-44	-20	-27	-6	13	0	0	0	13	-14	-7	-6	-13	-13	-27
卸売	-34	-48	-48	-52	41	7	10	24	4	14	3	3	0	7	-3	-17
小売	-50	-58	-43	-30	-5	-5	0	13	3	-3	-4	4	0	-8	-4	-4
運輸・通信	-62	-67	0	-11	11	11	20	20	0	10	0	0	-25	-17	-33	-22
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	-58	-63	-38	-21	4	4	6	0	-6	0	9	14	0	-3	-12	-8
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	-40	-50	9	-36	33	22	-22	-33	-13	-13	0	0	30	30	0	9

※ 回答数が5社以下の業種は非表示 (Xと表示)